

2023年5月10日

PGF生命
 プルデンシャルジブラルタファイナンシャル
 生命保険株式会社

PGF生命、 「2023年の還暦人(かんれきびと)に関する調査」を実施

PGF生命（プルデンシャルジブラルタファイナンシャル生命保険株式会社、代表取締役社長兼CEO 得丸 博充）は、2023年3月13日（月）～3月15日（水）の3日間、今年還暦を迎える1963年生まれの男女、「還暦人（かんれきびと）」を対象に「2023年の還暦人に関する調査」をインターネットリサーチで実施し、有効サンプル2,000名の集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

今年還暦を迎える1963年生まれの男女は、157万人※にのぼります。今年の還暦人に、還暦を迎えることへの意識やこれまでの思い出、ライフスタイル、そして今後の人生への期待や不安を聞いたところ、多様な人生観が垣間見える結果となりました。

PGF生命は、還暦を迎える方々が安心して末永くいきいきとした生活をおくれるよう、生命保険ビジネスを通じて応援しています。

※出典：総務省統計局「出生年別卵（う）年生まれの人口」より 参考：<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi1341.html>

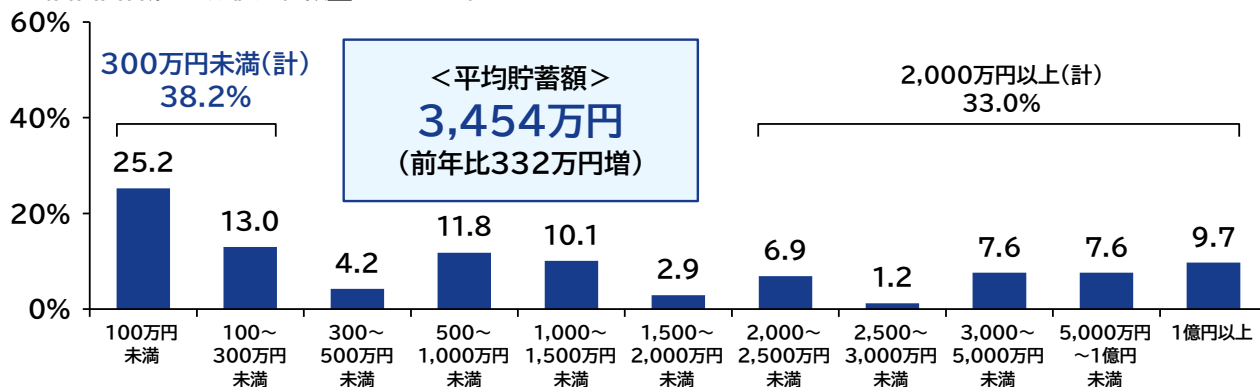


トピックス1：貯蓄の格差が広がる結果に。今年の還暦人の貯蓄額は平均3,454万円と大幅増加、一方で約4割が「300万円未満」

今年の還暦人の貯蓄額は平均3,454万円。昨年から比べると332万円の大幅増加となりました。値上げラッシュや不安定な社会情勢などを受けて、貯蓄性向が高まっているのかもしれませんが。

貯蓄額の平均が大きく伸びた一方で、約4割が「300万円未満」、3割以上が「2,000万円以上」と、貯蓄格差が際立つ結果となりました。

◆現段階の貯蓄金額（配偶者がいる場合は夫婦2人分）
 （自由回答形式：数値／総額__万円くらい）

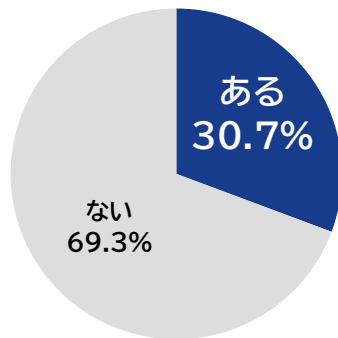


トピックス2 : 「親からの相続の際に苦労した経験がある」3割、苦労したこと1位は「相続財産の確認」

親からの相続の際に苦労した経験があるか聞いたところ、**30.7%**が「ある」と回答しました。

苦労した経験があることでは「**相続財産の確認**」が**1位**。親の財産内容を把握しておらず、相続財産調査などで苦労した人が多いということがうかがえました。

◆親からの相続の際に、苦労した経験があるか



【苦労した経験があること】(複数回答形式)

対象:親からの相続の際に、苦労した経験がある人

1	相続財産の確認 (29.3%)
2	不動産の処分 (28.3%)
3	すぐに必要な現金の準備(葬儀代など) (26.2%)
4	遺産分割協議 (22.6%)
5	加入している生命保険契約の確認 (19.5%)

トピックス3 : 還暦に見えない！ 容姿が若いと思う同年代の有名人はこの人！

男性有名人1位「唐沢 寿明さん」、女性有名人1位「今井 美樹さん」

還暦に見えないくらい容姿が若いと思う1963年生まれの有名人を聞いたところ、男性有名人では1位は「唐沢 寿明さん」、女性有名人では1位は「今井 美樹さん」でした。いつまでも若々しいお二人が今年の還暦人の憧れようです。

◆還暦に見えないくらい容姿が若いと思う同年代の有名人(複数回答形式) ※上位10位までを表示

女性			男性		
2023年度			2023年度		
1	今井 美樹(682名)	4	秋本 奈緒美(246名)	4	松本 人志(279名)
		5	香坂 みゆき(243名)	5	川崎 麻世(259名)
		6	NOKKO(161名)	6	勝村 政信(183名)
2	麻生 祐未(328名)	7	香西 かおり(150名)	7	いっこく堂(182名)
		8	野沢 直子(137名)	8	工藤 公康(180名)
3	河合 奈保子(314名)	9	広田 レオナ(100名)	9	伊原 剛志(172名)
		10	寺田 恵子(69名)	10	福澤 朗(170名)

◆還暦に見えないくらい容姿が若いと思う同年代の有名人(複数回答形式) ※上位10位までを表示

<2023年度(1963年生まれ)>

1	唐沢 寿明(713名)	4	河合 奈保子(314名)
		5	浜田 雅功(312名)
2	今井 美樹(682名)	6	川合 俊一(306名)
		7	松本 人志(279名)
3	麻生 祐未(328名)	8	川崎 麻世(259名)
		9	秋本 奈緒美(246名)
		10	香坂 みゆき(243名)

次頁には、トピックスには収まりきらなかった調査内容項目をハイライトで公開！さらに、4頁目からは、調査の結果詳細を図解解説しています。今年の還暦人の意識をチェックしてみてください。

<調査結果ハイライト>

第1章：還暦人の意識

- 「還暦の実感がわからない」約8割
- 心と身体の実感年齢 精神年齢は平均46歳、肉体年齢は平均54歳
- 7割が「最近、記憶力の衰えを感じる」と回答
- “嬉しい”と感じる還暦祝い 催しの1位「一緒に旅行」、プレゼントの1位「現金」
- 還暦に見えない！ 容姿が若いと思う同年代の有名人はこの人！
男性有名人1位「唐沢 寿明さん」、女性有名人1位「今井 美樹さん」
- 影響を受けた！ 同年代の有名人1位は「今井 美樹さん」、2位は「松本人志さん」

第2章：還暦人の仕事・マネー

- 「65歳以降も働きたい」働く還暦人の8割超、還暦人の現役志向が強まる傾向に
- 貯蓄の格差が広がる結果に。貯蓄額は平均3,454万円、一方で約4割が「300万円未満」
- 「買い物では現金決済よりキャッシュレス決済が多い」約8割、キャッシュレス派は増加傾向
- 「AI（人工知能）を活用した資産運用サービスを利用したい」2割半
- 趣味のための支出 「お金を使っている」7割
- 最もお金をかけている“推し活”の費用
「観劇」平均19万円/年、「スポーツ観戦」平均16万円/年、「アイドル応援」平均12万円/年、
「コンサート・ライブ」平均10万円/年

第3章：還暦人の不安・備え

- 還暦以降の人生で不安に思うこと 1位「身体能力の低下」2位「収入の減少」
3人に1人が「物価上昇」と回答
- 「親からの相続の際に苦労した経験がある」3割、苦労したこと1位は「相続財産の確認」
- 自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、前もって専門家に相談したいこと
1位「不動産の処分」2位「相続財産の確認」3位「すぐに必要な現金の準備」
- 自身が亡くなったときに備え、専門家に相談していること
1位「加入している生命保険契約の確認」2位「すぐに必要な現金の準備（葬儀代など）」
- 「自身の相続が“争続”にならないようにするため、行っていることがある」約3割
行っていることは「生命保険への加入」がダントツ、2位「親族間の十分なコミュニケーション」
- エンディングノートにメッセージを書き残すとしたら？ 書き残したい相手1位は「子ども」、
書き残したい言葉は「楽しい時間をありがとう」「幸せになってね」など心温まるメッセージが多数

第4章：還暦人の「これまで」と「これから」

- 今までの60年を漢字1文字で表すと？ 「楽」がダントツ、「苦」「幸」「忍」「耐」が続く
- テレビ放送開始70周年！ 夢中になったテレビ番組ランキング
1位「8時だョ！全員集合」2位「ザ・ベストテン」3位「オレたちひょうきん族」
- これから叶えたい夢や目標 「旅行をする」がダントツ、2位「健康に過ごす・健康になる」
- 「生まれ変わっても今のパートナーと一緒にになりたい」男性では5割、女性では4割弱

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「PGF生命調べ」と付記のうえご使用いただきますようお願い申し上げます。

第1章：還暦人の意識

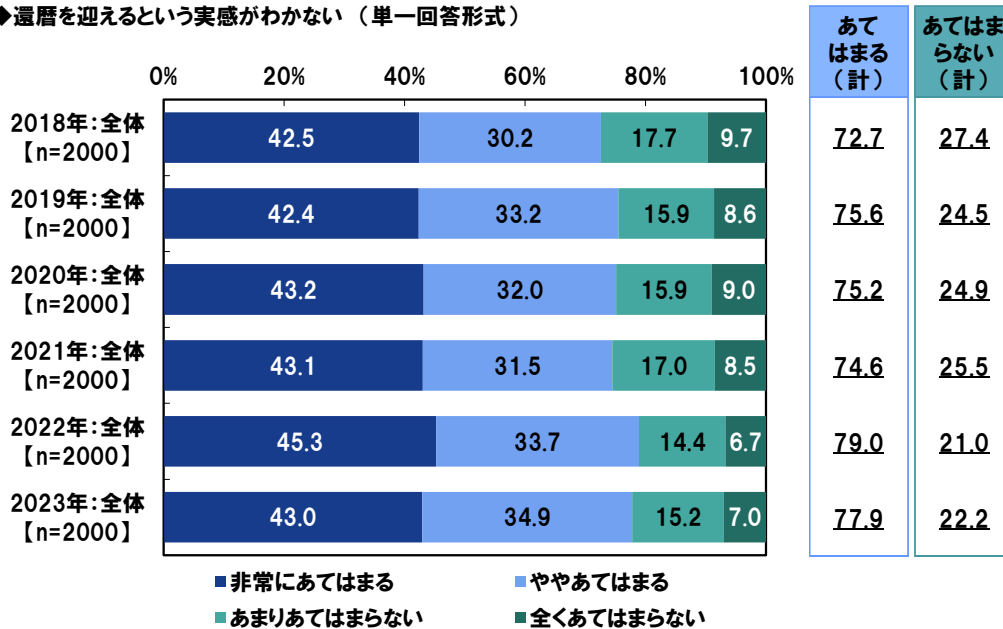
■「還暦の実感がわからない」約8割

今年還暦を迎える1963年生まれの人（以下、還暦人「かんれきびと」）2,000名（全回答者）に、還暦の実感について質問しました。

まず、全回答者（2,000名）に、還暦を迎えるという実感がわからないかを聞いたところ、「非常にあてはまる」と「ややあてはまる」と回答した人は合計して77.9%、「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」と回答した人は合計して22.2%でした。

過去の調査結果と比較すると、「あてはまる」と回答した人の割合は2022年の調査（79.0%）からわずかに下降したものの、多くの人自身が自身の若々しさを自負しているためか、依然として4人に3人以上は実感が伴わないようです。

◆還暦を迎えるという実感がわからない（単一回答形式）



- 気持ちは現役世代！ 心と身体の実感年齢 精神年齢は平均 46 歳、肉体年齢は平均 54 歳
- 記憶力の低下を実感するシーンが増加 7 割が「最近、記憶力の衰えを感じる」と回答

次に、自身の年齢を何歳に相当すると感じているか、精神年齢と肉体年齢についてそれぞれ聞きました。

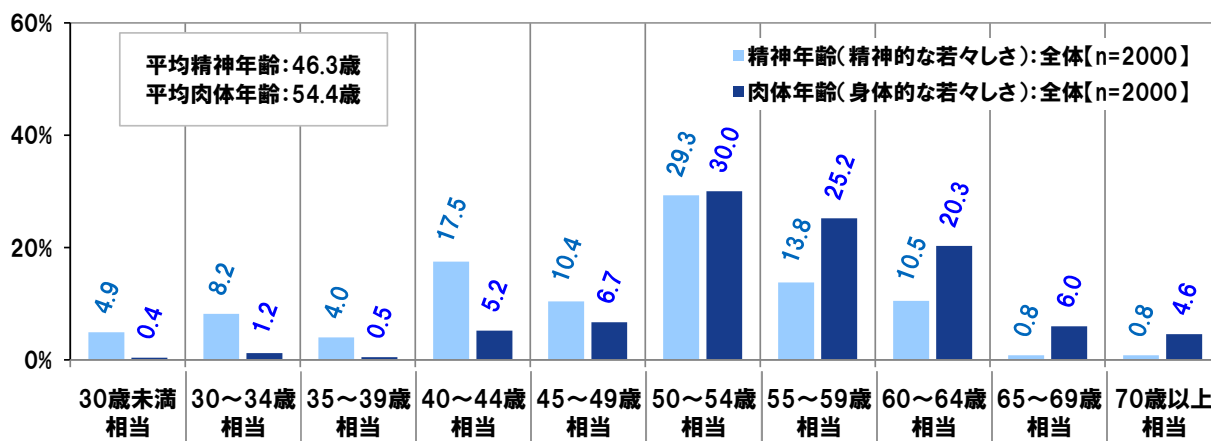
□ 精神年齢

「精神的な若々しさ」の実感は、「50～54 歳相当」（29.3%）に最も多くの回答が集まり、「40～44 歳相当」（17.5%）にも多く回答がみられ、平均年齢は 46.3 歳でした。

□ 肉体年齢

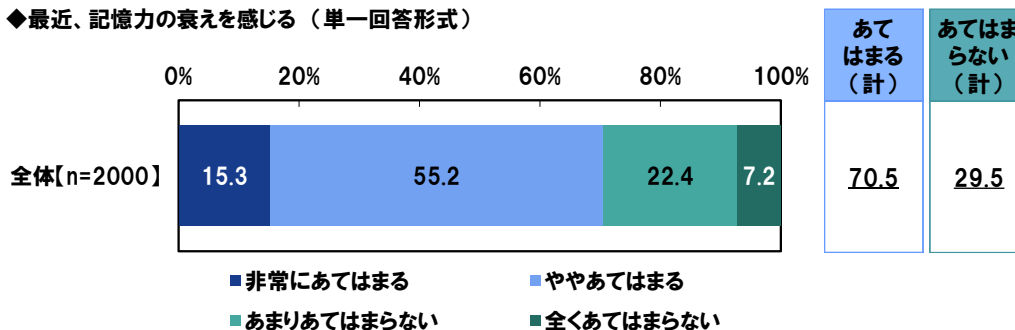
「身体的な若々しさ」の実感でも、「50～54 歳相当」（30.0%）に最も多くの回答が集まり、平均年齢は 54.4 歳でした。

◆ 自身は何歳相当だと実感しているか（各自由回答形式：数値 / ____ 歳相当）
「精神年齢（＝精神的な若々しさ）」と「肉体年齢（＝身体的な若々しさ）」



また、最近、記憶力の衰えを感じるかを聞いたところ、「あてはまる」は 70.5%、「あてはまらない」は 29.5%となりました。還暦人の大半が、普段の生活で認知機能の低下を意識するようです。

◆ 最近、記憶力の衰えを感じる（単一回答形式）

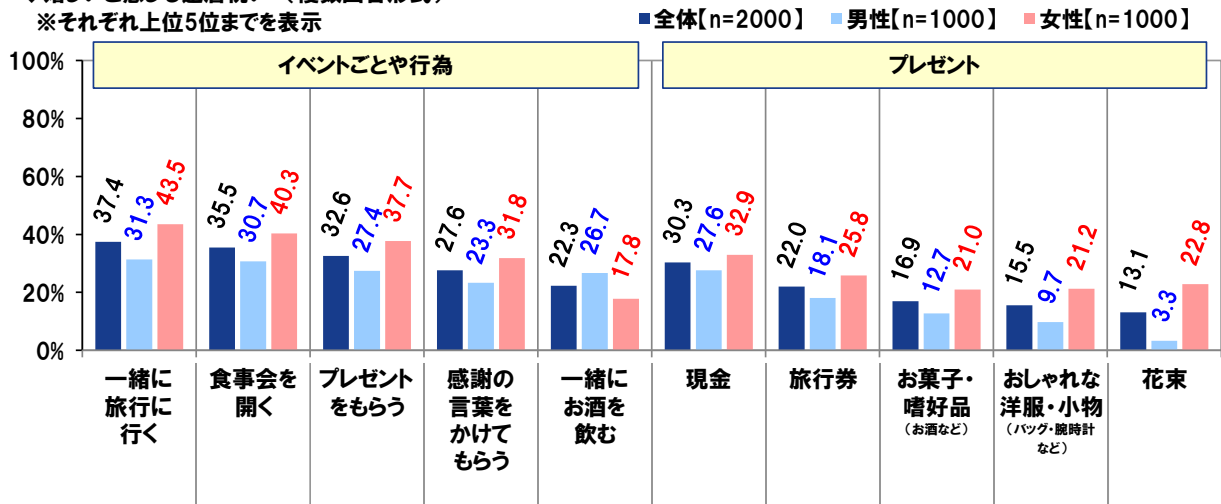


■ “嬉しい” と感じる還暦祝い 催しの1位「一緒に旅行」、プレゼントの1位「現金」

還暦のお祝いについて質問しました。

嬉しいと感じる還暦祝いを聞いたところ、イベントごとや行為では1位「一緒に旅行に行く」(37.4%)、2位「食事会を開く」(35.5%)、3位「プレゼントをもらう」(32.6%)、プレゼントでは1位「現金」(30.3%)、2位「旅行券」(22.0%)、3位「お菓子・嗜好品(お酒など)」(16.9%)でした。

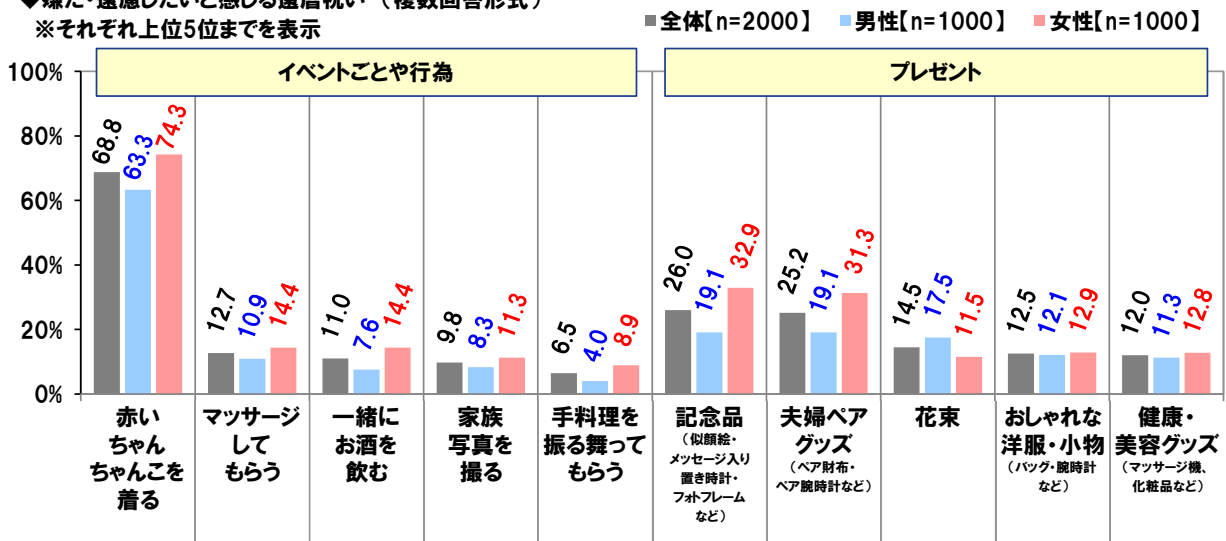
◆嬉しいと感じる還暦祝い(複数回答形式)
※それぞれ上位5位までを表示



反対に、嫌だ・遠慮したいと感じる還暦祝いを聞いたところ、イベントごとや行為では「赤いちゃんちゃんこを着る」(68.8%)がダントツとなり、2位「マッサージしてもらう」(12.7%)、3位「一緒にお酒を飲む」(11.0%)が続きました。プレゼントでは1位「記念品(似顔絵・メッセージ入り置き時計・フォトフレームなど)」(26.0%)、2位「夫婦ペアグッズ(ペア財布・ペア腕時計など)」(25.2%)、3位「花束」(14.5%)でした。

嫌だ・遠慮したいと感じるプレゼントを男女別にみると、女性では「記念品(似顔絵・メッセージ入り置き時計・フォトフレームなど)」(32.9%)と「夫婦ペアグッズ(ペア財布・ペア腕時計など)」(31.3%)が男性(いずれも19.1%)と比べて10ポイント以上高くなりました。

◆嫌だ・遠慮したいと感じる還暦祝い(複数回答形式)
※それぞれ上位5位までを表示



■還暦に見えない！ 容姿が若いと思う同年代の有名人はこの人！

男性有名人1位「唐沢 寿明さん」、女性有名人1位「今井 美樹さん」

■影響を受けた！ 同年代の有名人1位は「今井 美樹さん」、2位は「松本人志さん」

■ライフスタイルをお手本にしたい！ 同年代の有名人1位は「今井 美樹さん」

今年の還暦人と同年代の1963年生まれの有名人について聞きました。

還暦に見えないくらい容姿が若いと思う同年代の有名人を聞いたところ、激しいアクションも難なくこなす「唐沢 寿明さん」が1位となり、2位「今井 美樹さん」、3位「麻生 祐未さん」が続きました。

男女別にランキングをみると、男性有名人では1位「唐沢 寿明さん」、2位「浜田 雅功さん」、3位「川合 俊一さん」、女性有名人では1位「今井 美樹さん」、2位「麻生 祐未さん」、3位「河合 奈保子さん」でした。

◆還暦に見えないくらい容姿が若いと思う同年代(1963年生まれ)の有名人(複数回答形式) ※上位10位までを表示
全体[n=2000]

全体			男性有名人			女性有名人		
順位	名	票数	順位	名	票数	順位	名	票数
1位	唐沢 寿明	713	1位	唐沢 寿明	713	1位	今井 美樹	682
2位	今井 美樹	682	2位	浜田 雅功	312	2位	麻生 祐未	328
3位	麻生 祐未	328	3位	川合 俊一	306	3位	河合 奈保子	314
4位	河合 奈保子	314	4位	松本人志	279	4位	秋本 奈緒美	246
5位	浜田 雅功	312	5位	川崎 麻世	259	5位	香坂 みゆき	243
6位	川合 俊一	306	6位	勝村 政信	183	6位	NOKKO	161
7位	松本人志	279	7位	いっこく堂	182	7位	香西 かおり	150
8位	川崎 麻世	259	8位	工藤 公康	180	8位	野沢 直子	137
9位	秋本 奈緒美	246	9位	伊原 剛志	172	9位	広田 レオナ	100
10位	香坂 みゆき	243	10位	福澤 朗	170	10位	寺田 恵子	69

次に、自身が影響を受けたと思う同年代の有名人を聞いたところ、1位「今井 美樹さん」、2位「松本人志さん」、3位「唐沢 寿明さん」、4位「浜田 雅功さん」、5位「河合 奈保子さん」と、TOP5にはお笑い界をリードし続けるダウンタウンのお二人がランクインしました。

また、ライフスタイルなどをお手本にしたいと思う同年代の有名人を聞いたところ、「今井 美樹さん」が1位でした。自然体の魅力が溢れる今井 美樹さんのライフスタイルに憧れる人が多いようです。

◆自身が影響を受けたと思う同年代(1963年生まれ)の有名人
(複数回答形式) ※上位10位までを表示
全体[n=2000]

順位	名	票数
1位	今井 美樹	139
2位	松本人志	137
3位	唐沢 寿明	99
4位	浜田 雅功	96
5位	河合 奈保子	84
6位	工藤 公康	75
7位	NOKKO	52
8位	松重 豊	46
9位	池井戸 潤	42
10位	片山 右京	41

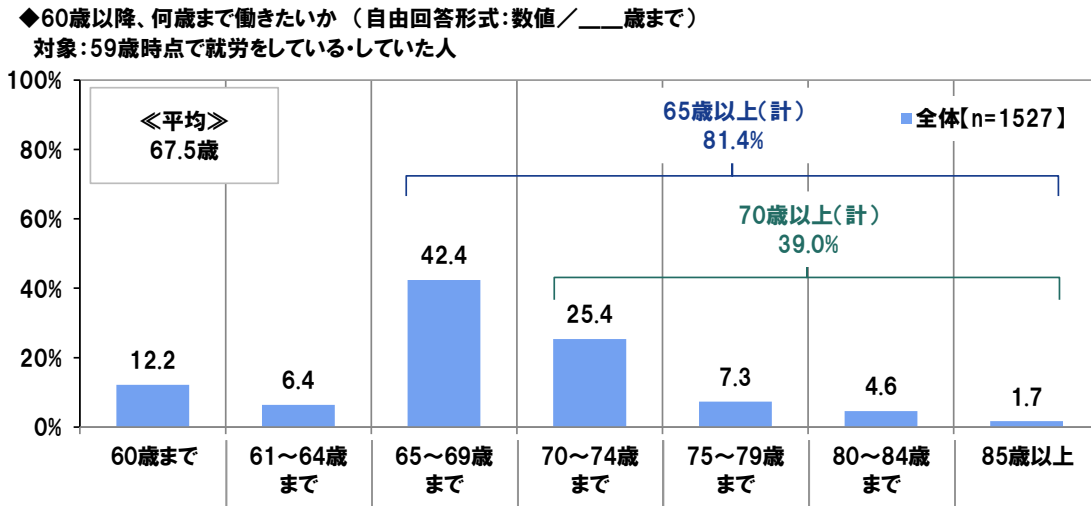
◆(ライフスタイルなど)お手本にしたいと思う同年代(1963年生まれ)の有名人
(複数回答形式) ※上位10位までを表示
全体[n=2000]

順位	名	票数
1位	今井 美樹	94
2位	唐沢 寿明	75
3位	松本人志	58
4位	浜田 雅功	41
5位	松重 豊	38
6位	工藤 公康	38
7位	若田 光一	27
8位	香坂 みゆき	26
9位	麻生 祐未	26
10位	河合 奈保子	25

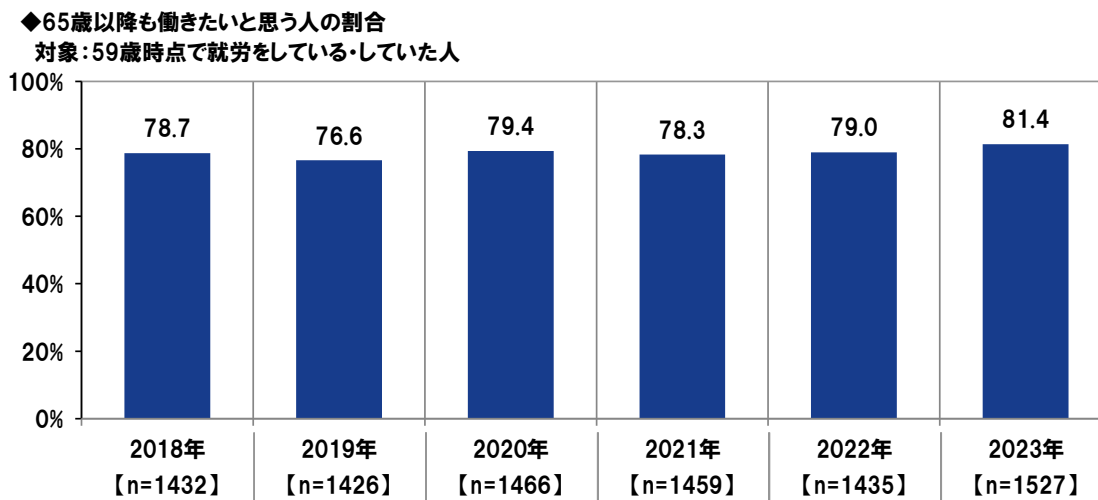
第2章：還暦人の仕事・マネー

■「65歳以降も働き続けたい」働く還暦人の8割超、還暦人の現役志向が強まる傾向に

59歳時点で就労をしている・していた人（1,527名）に、還暦以降の就労意向について質問しました。60歳以降、何歳まで働きたいかについてみると、65歳以降も働きたいと思う人（65歳以降の年齢を回答した人）の割合は81.4%、70歳以降も働きたいと思う人（70歳以降の年齢を回答した人）の割合は39.0%でした。



過去の調査結果と比較すると、65歳以降も働きたいと思う人の割合は、2021年78.3%→2022年79.0%→2023年81.4%と2年連続で上昇傾向が続き、2023年は調査開始以来最も高く8割を超えました。2021年4月の改正高年齢者雇用安定法の施行により対象となる事業者には65歳までの雇用確保義務に加え70歳までの就業機会確保努力義務が課せられるようになり、就業機会の確保がしやすくなっているなか、還暦人の現役志向は年々強まる傾向にあるようです。

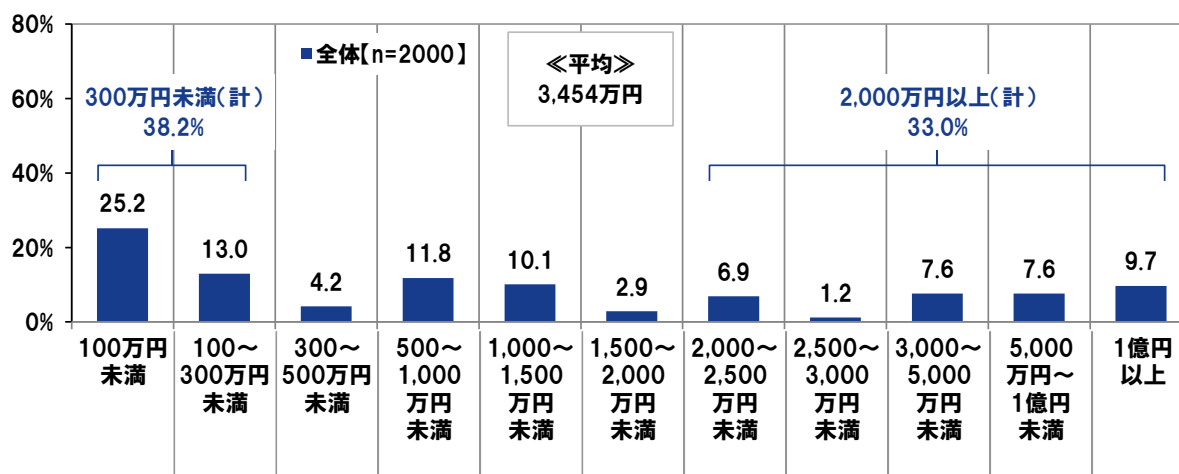


■貯蓄の格差が広がる結果に。貯蓄額は平均 3,454 万円、一方で約 4 割が「300 万円未満」

全回答者（2,000 名）に、現段階の貯蓄金額（配偶者がいる場合は夫婦 2 人分）を聞いたところ、「100 万円未満」（25.2%）に最も多くの回答が集まったほか、「100～300 万円未満」（13.0%）や「500～1,000 万円未満」（11.8%）、「1,000～1,500 万円未満」（10.1%）、「3,000～5,000 万円未満」（7.6%）、「5,000 万円～1 億円未満」（7.6%）、「1 億円以上」（9.7%）などに回答が分散し、平均は 3,454 万円でした。

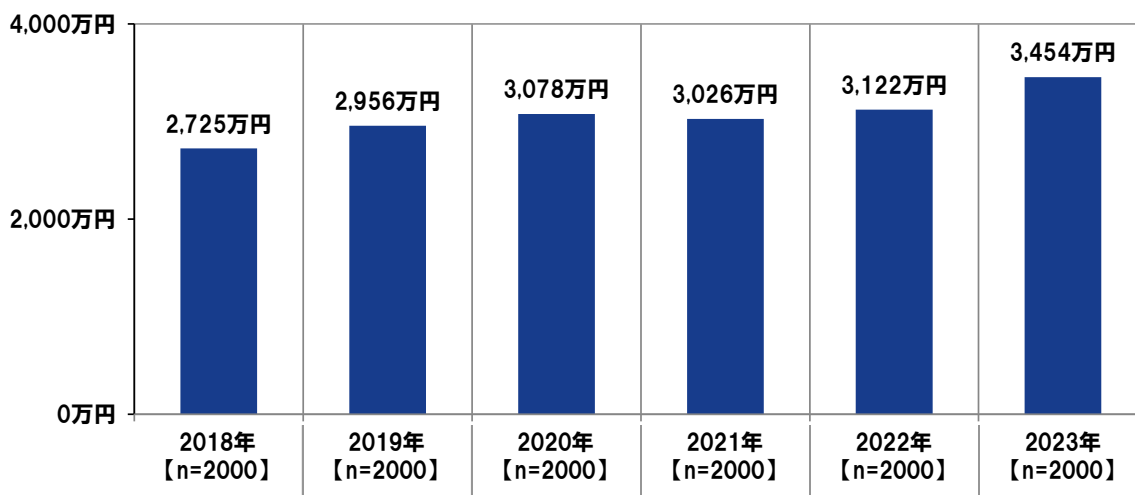
また、「300 万円未満」の割合は 38.2%、「2,000 万円以上」の割合は 33.0%と、貯蓄格差が際立つ結果となりました。

◆現段階の貯蓄金額（配偶者がいる場合は夫婦 2 人分）
（自由回答形式：数値／総額__万円くらい）



過去の調査結果と比較すると、貯蓄金額の平均は、2018年の調査から着実な増加傾向が続き、2023年は 3,454 万円と調査開始以来最も高くなりました。2019年に話題となった「老後 2,000 万円問題」を一つの契機に、将来への備えや貯蓄を意識する人が増えているのではないのでしょうか。昨年からの変化をみると、2022年 3,122 万円→2023年 3,454 万円と、332 万円の大幅増加（前年比 10.6%増加）となりました。止まらない物価上昇や不安定な社会情勢などを受けて、経済の先行き不透明感や将来の生活不安が強まり、貯蓄性向が高まっているのかもしれませんが。

◆現段階の貯蓄金額の平均

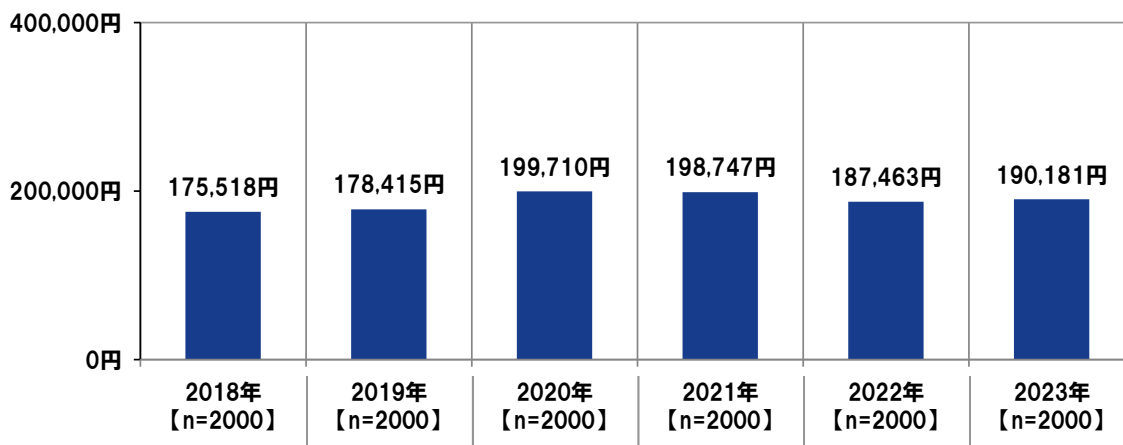


- 物価上昇の影響を反映 生活費として最低限必要だと思う金額は増加に転じ、平均 19 万円/月に
- “ゆとりのある生活”を送るために必要だと思う金額も増加に転じ、平均 27 万 9 千円/月に

これからの人生（60 歳～）で必要だと思う金額について聞いたところ、【生活費として最低限必要だと思う金額（ひと月あたり）】は平均 190,181 円でした。

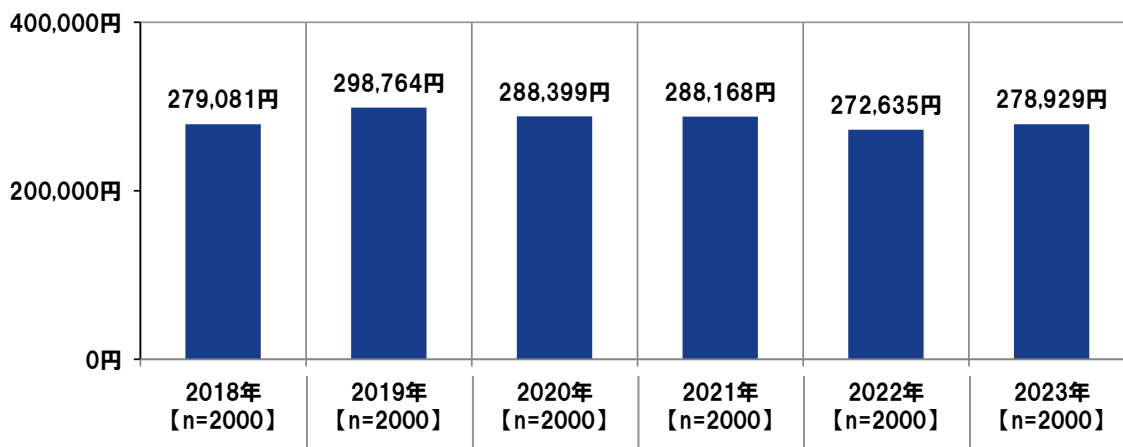
過去の調査結果と比較すると、2020 年から 2022 年までみられた減少傾向から一転、2,718 円の増加となりました。値上げラッシュによる家計への負担の増加が影響しているのではないのでしょうか。

◆これからの人生(60歳～)で、生活費として最低限必要だと思う金額の平均(ひと月あたり)
(自由回答形式:数値/ひと月あたり___円くらい)



他方、【ゆとりのある生活を送るために必要だと思う金額（ひと月あたり）】は平均 278,929 円でした。過去の調査結果と比較すると、2019 年 298,764 円→2020 年 288,399 円→2021 年 288,168 円→2022 年 272,635 円→2023 年 278,929 円と、3 年連続の減少から増加に転じました。

◆これからの人生(60歳～)で、ゆとりのある生活を送るために必要だと思う金額の平均(ひと月あたり)
(自由回答形式:数値/ひと月あたり___円くらい)

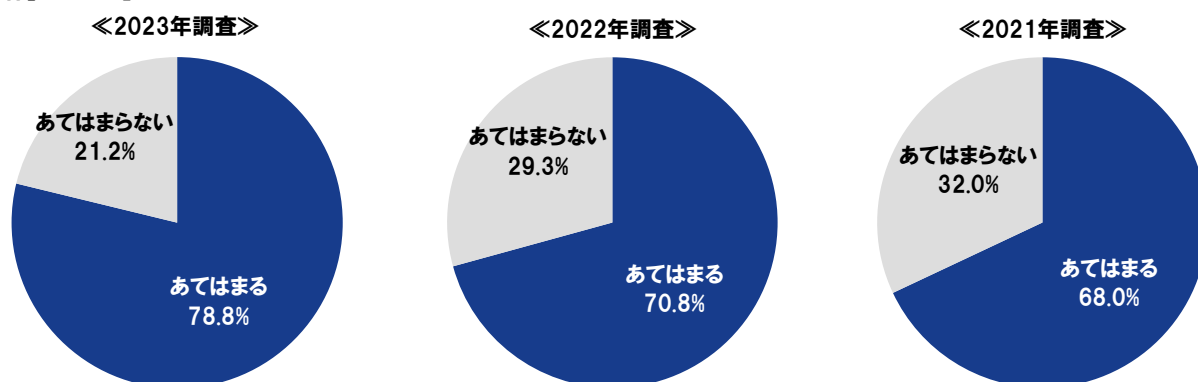


- 「買い物では現金決済よりキャッシュレス決済が多い」約8割、キャッシュレス派は増加傾向
- 「お金の管理をアプリで行いたい」約4割、マネーアプリ利用意向者は増加傾向

買い物では現金決済よりキャッシュレス決済をすることが多いかを聞いたところ、「あてはまる」は78.8%となりました。

過去の調査結果と比較すると、「あてはまる」と回答した人の割合は、2021年 68.0%→2022年 70.8%→2023年 78.8%と2年連続で上昇しました。キャッシュレス決済の利便性を実感し、キャッシュレス決済を普段使いするようになった人が増えているのではないのでしょうか。

◆買い物では現金決済よりキャッシュレス決済をすることが多い（単一回答形式）
全体[n=2000]

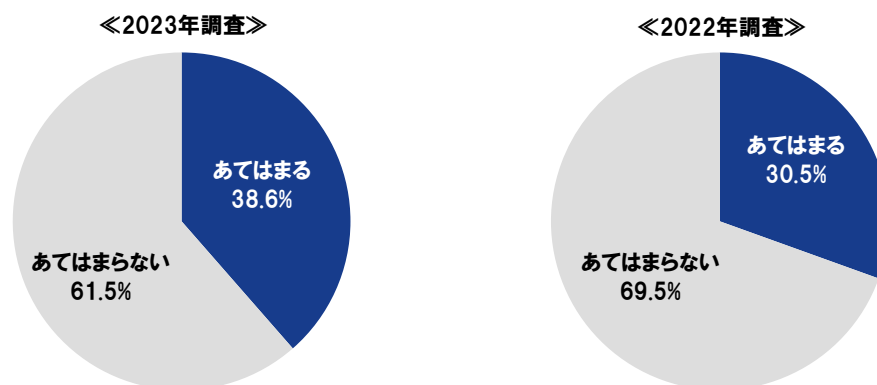


*あてはまる:「非常に」「やや」の合計
あてはまらない:「全く」「あまり」の合計

スマホの利用に関して、お金の管理をアプリ（銀行アプリ、家計簿アプリなど）で行いたいかを聞いたところ、「あてはまる」は38.6%となりました。

昨年の調査結果と比較すると、「あてはまる」と回答した人の割合は、2022年 30.5%→2023年 38.6%と8.1ポイント上昇しました。

◆お金の管理をアプリ(銀行アプリ、家計簿アプリなど)で行いたい（単一回答形式）
全体[n=2000]



*あてはまる:「非常に」「やや」の合計
あてはまらない:「全く」「あまり」の合計

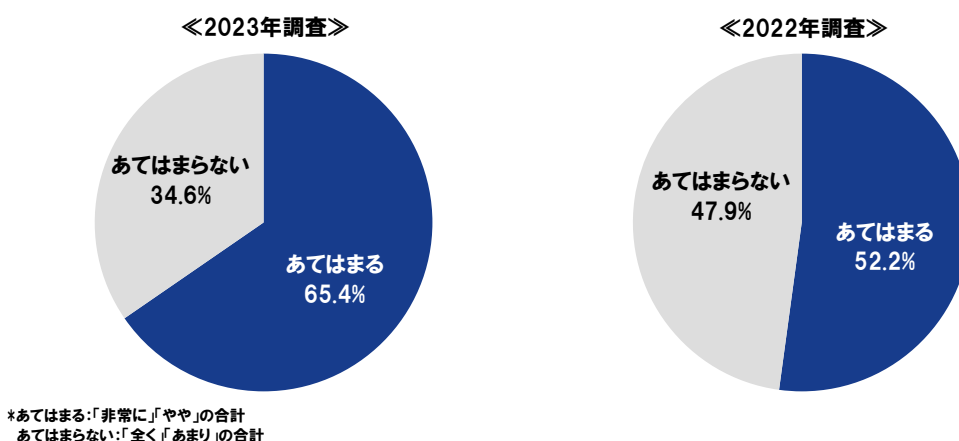
■「日常生活ではテレビよりスマホが欠かせない」6割半

■「AI（人工知能）を活用した資産運用サービスを利用したい」2割半

また、日常生活ではテレビよりスマホが欠かせないかを聞いたところ、「あてはまる」は65.4%となりました。

昨年の調査結果と比較すると、「あてはまる」と回答した人の割合は、2022年 52.2%→2023年 65.4%と13.2ポイントの大幅上昇となりました。「テレビよりスマホ」と位置付ける人が大半を占める結果となりました。

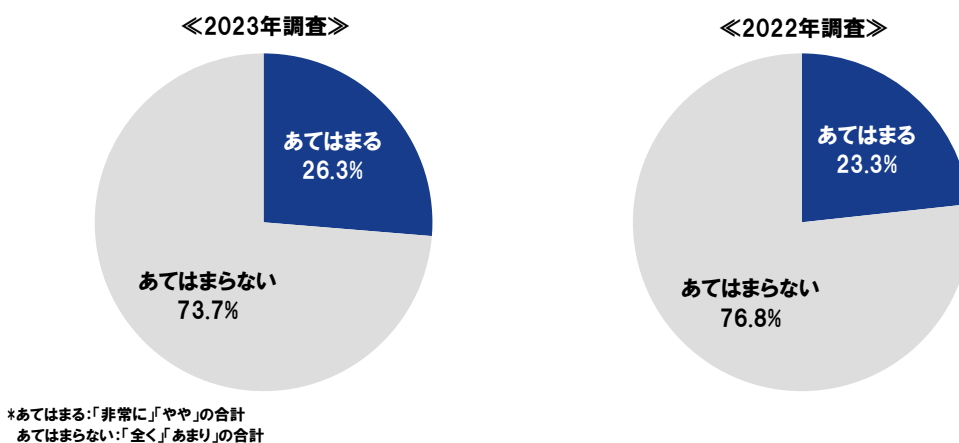
◆日常生活ではテレビよりスマホが欠かせない（単一回答形式）
全体【n=2000】



さらに、AI（人工知能）を活用した資産運用サービス（資産配分や金融商品の選定などを自動で行ってくれるサービス。ロボアドバイザーなど）を利用したいかを聞いたところ、「あてはまる」は26.3%となりました。

昨年の調査結果と比較すると、「あてはまる」と回答した人の割合は、2022年 23.3%→2023年 26.3%と3.0ポイント上昇しました。

◆AI(人工知能)を活用した資産運用サービスを利用したい（単一回答形式）
全体【n=2000】



■最近の物価上昇への対策として行っていること

1位「節約する」2位「買い物を控える・減らす」3位「無駄な物を買わない」

身の周りで値上げが相次ぐなか、どのような物価上昇対策を行っている人が多いのでしょうか。

最近の物価上昇への対策として行っていることを聞いたところ、1位「節約する」、2位「買い物を控える・減らす」、3位「無駄な物を買わない」、4位「光熱費を節約する」、5位「食費を抑える」となりました。物価上昇による家計への負担を和らげるため、節約や節制に努めている人が多いようです。

男女別にみると、男性・女性とも1位は「節約する」で、男性では2位「光熱費を節約する」、3位「買い物を控える・減らす」、4位「無駄な物を買わない」、5位「投資・資産運用をする」、女性では2位「無駄な物を買わない」、3位「買い物を控える・減らす」、4位「光熱費を節約する」、5位「食費を抑える」でした。

◆最近の物価上昇への対策として行っていること（自由回答形式）※上位10位までを表示

全体[n=2000]

		名
1位	節約する(全般)	297
2位	買い物を控える・減らす	148
3位	無駄な物を買わない	141
4位	光熱費を節約する	131
5位	食費を抑える	56
6位	割引商品を買う	55
7位	安い店に行く	52
8位	安い物を買う	43
9位	投資・資産運用をする	40
10位	まとめ買いをする	37

男性[n=1000]

		名
1位	節約する(全般)	155
2位	光熱費を節約する	57
3位	買い物を控える・減らす	55
4位	無駄な物を買わない	38
5位	投資・資産運用をする	35
6位	安い物を買う	26
7位	安い店に行く	23
8位	割引商品を買う	22
9位	食費を抑える	20
10位	ポイントを活用する	18

女性[n=1000]

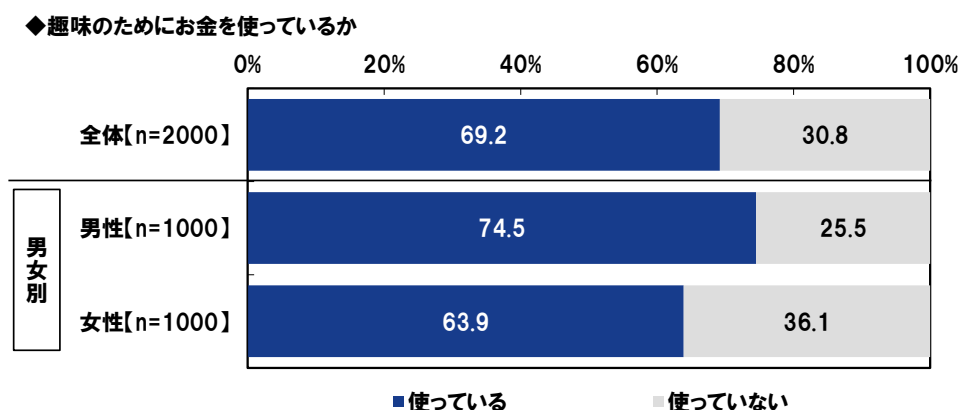
		名
1位	節約する(全般)	142
2位	無駄な物を買わない	103
3位	買い物を控える・減らす	93
4位	光熱費を節約する	74
5位	食費を抑える	36
6位	割引商品を買う	33
7位	安い店に行く	29
8位	食材を無駄にしない	27
9位	まとめ買いをする	26
10位	安い物を買う	17

■趣味のための支出 「お金を使っている」7割、「お金を使っていない」3割

趣味のための支出について質問しました。

まず、趣味のためにお金を使っているか聞いたところ、「使っている」は 69.2%、「使っていない」は 30.8%となりました。大半が趣味のために支出する一方で、3割は趣味にお金を使わないという実状が明らかとなりました。物価上昇や収入減少といった厳しい経済事情を背景とした、先行き不安や節約志向の高まりがその一因ではないでしょうか。

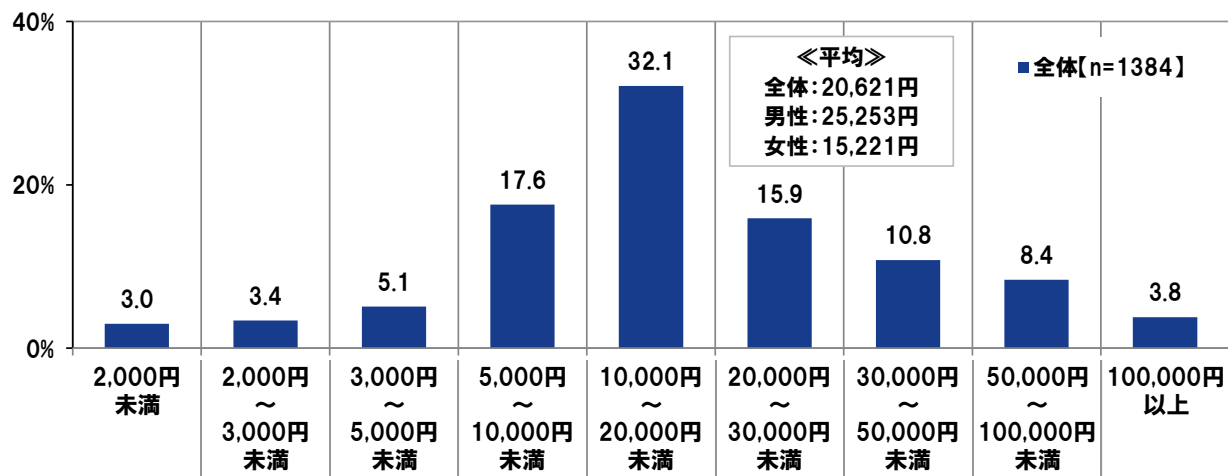
男女別にみると、趣味のためにお金を使っていない人の割合は、女性では 36.1%と、男性（25.5%）と比べて 10.6 ポイント高くなりました。



趣味のためにお金を使っている人（1,384 名）に、趣味のために使っているお金はひと月あたりどのくらいかを聞いたところ、「10,000 円～20,000 円未満」（32.1%）に最も多くの回答が集まったほか、「5,000 円～10,000 円未満」（17.6%）や「20,000 円～30,000 円未満」（15.9%）にも回答が集まり、平均は 20,621 円でした。

男女別にみると、平均は男性では 25,253 円と、女性（15,221 円）と比べて 10,032 円高くなりました。

◆趣味のために使っているお金はひと月あたりどのくらいか（自由回答形式：数値／ひと月あたり___円くらい）
対象：趣味のためにお金を使っている人



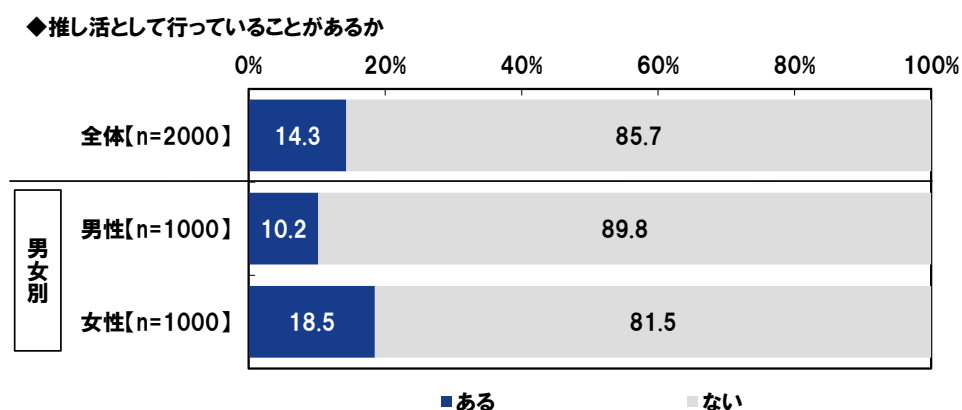
■最もお金をかけている“推し活”の費用

「観劇」平均 19 万円/年、「スポーツ観戦」平均 16 万円/年、「アイドル応援」平均 12 万円/年、「コンサート・ライブ」平均 10 万円/年

“推し活”について質問しました。“推し活”とは、自分にとってイチオシのアイドルや有名人、キャラクターなどを応援する活動のことをいいます。

まず、推し活として行っていることがあるか聞いたところ、「ある」は 14.3%、「ない」は 85.7%となりました。“推し活”をしている人は少なくないようです。

男女別にみると、推し活として行っていることがある人の割合は、女性では 18.5%と、男性（10.2%）と比べて 8.3 ポイント高くなりました。



では、推し活にどのくらいお金をかけているのでしょうか。

推し活として行っていることがある人に、最もお金をかけている推し活と、その推し活に一年間にかけている金額を聞いたところ、かけている金額の平均は、「観劇をする」（平均 189,375 円）、「スポーツ観戦をする」（平均 157,244 円）、「アイドルを応援する」（平均 115,273 円）、「コンサート・ライブに行く」（平均 101,747 円）、「グッズを買う」（平均 97,375 円）、「ミュージシャンを応援する」（平均 21,467 円）と続きました。

◆最もお金をかけている推し活・その推し活に一年間にかけている金額
 （自由回答形式：数値／年間____円くらい） 対象：推し活として行っていることがある人
 ※n数が15以上の回答を平均が高い順に表示

	名	平均
観劇をする	16	189,375円
スポーツ観戦をする	41	157,244円
アイドルを応援する	22	115,273円
コンサート・ライブに行く	79	101,747円
グッズを買う	16	97,375円
ミュージシャンを応援する	15	21,467円

第3章：還暦人の不安・備え

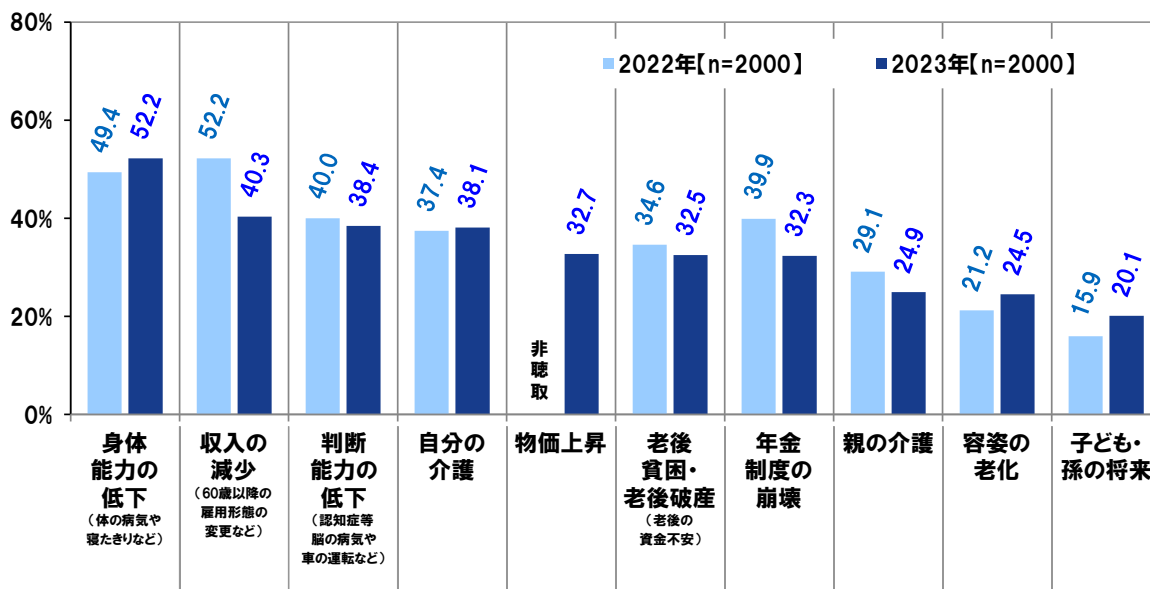
■還暦以降の人生で不安に思うこと 1位「身体能力の低下」2位「収入の減少」
3人に1人が「物価上昇」と回答

これからの人生に対する不安や備えについて質問しました。

全回答者（2,000名）に、還暦以降（60歳以降）の人生で不安に思うことを聞いたところ、1位「身体能力の低下（体の病気や寝たきりなど）」（52.2%）、2位「収入の減少（60歳以降の雇用形態の変更など）」（40.3%）、3位「判断能力の低下（認知症等脳の病気や車の運転など）」（38.4%）、4位「自分の介護」（38.1%）、5位「物価上昇」（32.7%）でした。

昨年の調査結果と比較すると、2年連続で「身体能力の低下」（2022年49.4%、2023年52.2%）が約半数と高い割合となり、昨年の2位から今年は順位を上げて1位となりました。コロナ禍で長期化した運動不足問題が背景にあるのではないのでしょうか。また、「物価上昇」が5位（32.7%）となり、円安や原材料費の高騰による値上げラッシュが日常生活を圧迫している影響がうかがえる結果となりました。

◆還暦以降(60歳以降)の人生で不安に思うこと（複数回答形式）※2023年調査の上位10位までを表示



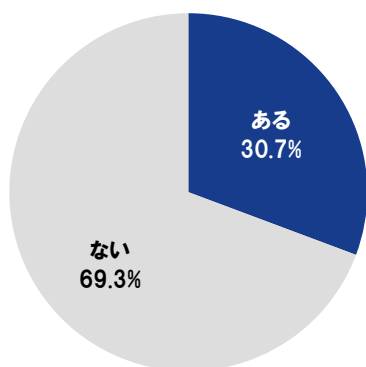
- 「親からの相続の際に苦労した経験がある」3割、苦労したこと1位は「相続財産の確認」
- 自身が亡くなった際に、遺された家族や親族が苦労しないか心配なこと
1位「すぐに必要な現金の準備」2位「不動産の処分」3位「加入している生命保険契約の確認」

次に、相続について質問しました。

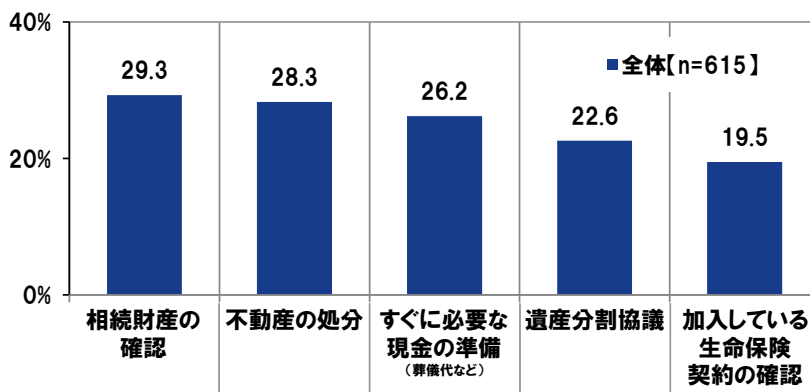
全回答者（2,000名）に、親からの相続の際に、苦労した経験があるか聞いたところ、「ある」は30.7%、「ない」は69.3%となりました。

親からの相続の際に、苦労した経験がある人（615名）に、苦労した経験があることを聞いたところ、「相続財産の確認」（29.3%）が最も高くなり、「不動産の処分」（28.3%）、「すぐに必要な現金の準備（葬儀代など）」（26.2%）、「遺産分割協議」（22.6%）、「加入している生命保険契約の確認」（19.5%）が続きました。

◆親からの相続の際に、苦労した経験があるか
全体【n=2000】



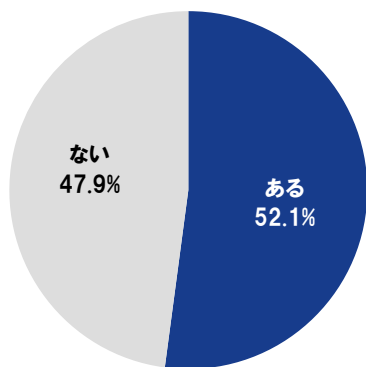
◆親からの相続の際に、苦労した経験があること（複数回答形式）
※上位5位までを表示
対象：親からの相続の際に、苦労した経験がある人



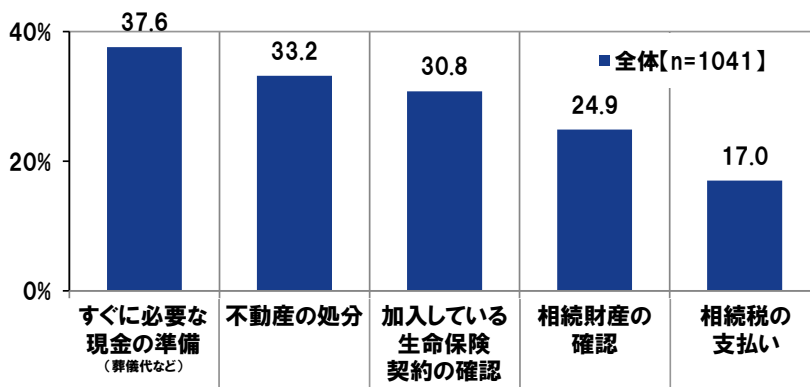
他方、全回答者（2,000名）に、自身が亡くなった際に、遺された家族や親族が苦労しないか心配なことがあるか聞いたところ、「ある」は52.1%、「ない」は47.9%となりました。

自身が亡くなった際に、遺された家族や親族が苦労しないか心配なことがある人（1,041名）に、心配なことを聞いたところ、「すぐに必要な現金の準備（葬儀代など）」（37.6%）が最も高くなりました。次いで高くなったのは、「不動産の処分」（33.2%）、「加入している生命保険契約の確認」（30.8%）でした。

◆自身が亡くなった際に、
遺された家族や親族が苦労しないか
心配なことがあるか
全体【n=2000】



◆自身が亡くなった際に、遺された家族や親族が苦労しないか心配なこと
（複数回答形式）※上位5位までを表示
対象：自身が亡くなった際に、
遺された家族や親族が苦労しないか心配なことがある人

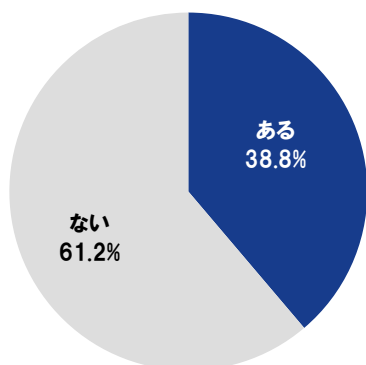


- 自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、前もって専門家に相談したいこと
1位「不動産の処分」2位「相続財産の確認」3位「すぐに必要な現金の準備」
- 自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、すでに専門家に相談していること
1位「加入している生命保険契約の確認」2位「すぐに必要な現金の準備（葬儀代など）」

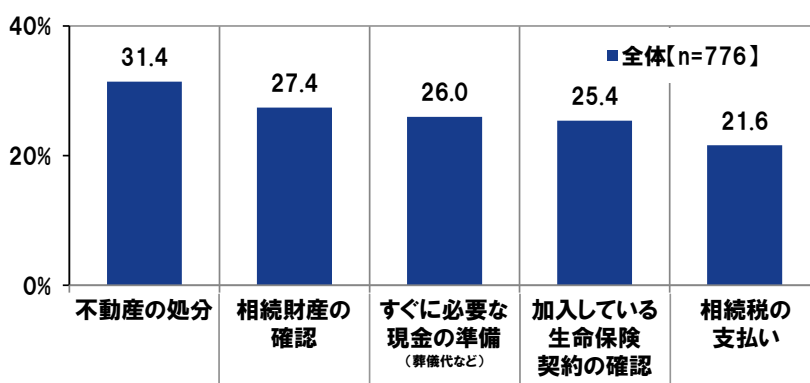
全回答者（2,000名）に、自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、前もって専門家に相談したいことがあるか聞いたところ、「ある」は38.8%、「ない」は61.2%となりました。

自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、前もって専門家に相談したいことがある人（776名）に、相談したいことを聞いたところ、「不動産の処分」（31.4%）が最も高くなりました。次いで高くなったのは、「相続財産の確認」（27.4%）、「すぐに必要な現金の準備（葬儀代など）」（26.0%）、「加入している生命保険契約の確認」（25.4%）、「相続税の支払い」（21.6%）でした。

◆自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、前もって専門家に相談したいことがあるか
全体【n=2000】



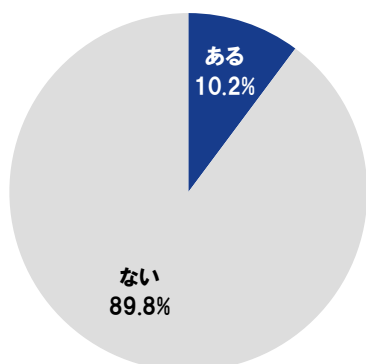
◆自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、前もって専門家に相談したいこと（複数回答形式）※上位5位までを表示
対象：自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、前もって専門家に相談したいことがある人



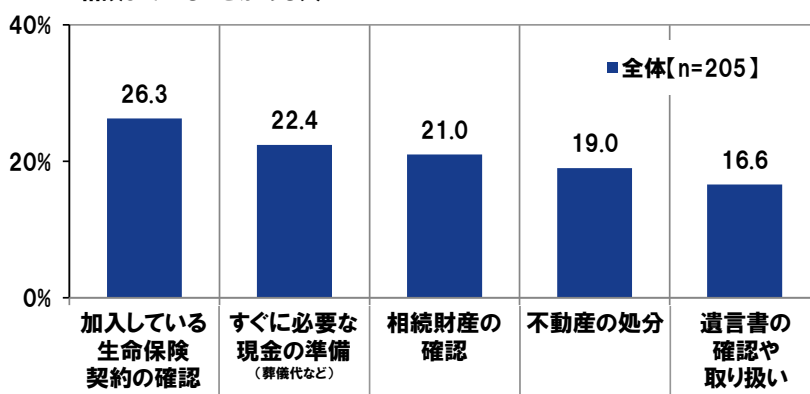
全回答者（2,000名）に、自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、すでに専門家に相談していることがあるか聞いたところ、「ある」は10.2%、「ない」は89.8%となりました。

自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、すでに専門家に相談していることがある人（205名）に、相談していることを聞いたところ、「加入している生命保険契約の確認」（26.3%）が最も高くなり、「すぐに必要な現金の準備（葬儀代など）」（22.4%）、「相続財産の確認」（21.0%）、「不動産の処分」（19.0%）、「遺言書の確認や取り扱い」（16.6%）が続きました。

◆自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、すでに専門家に相談していることがあるか
全体【n=2000】



◆自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、すでに専門家に相談していること（複数回答形式）※上位5位までを表示
対象：自身が亡くなったときに備え、遺された家族や親族のために、すでに専門家に相談していることがある人



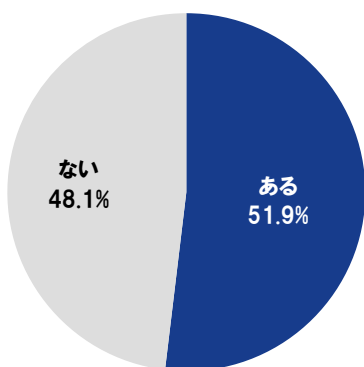
■「自身の相続が“争続”にならないようにするため、すでに行っていることがある」約3割
 行っていることは「生命保険への加入」がダントツ、2位「親族間の十分なコミュニケーション」

“争続”について質問しました。“争続”とは、遺産相続を巡り親族などの相続人同士が争うことをいいます。

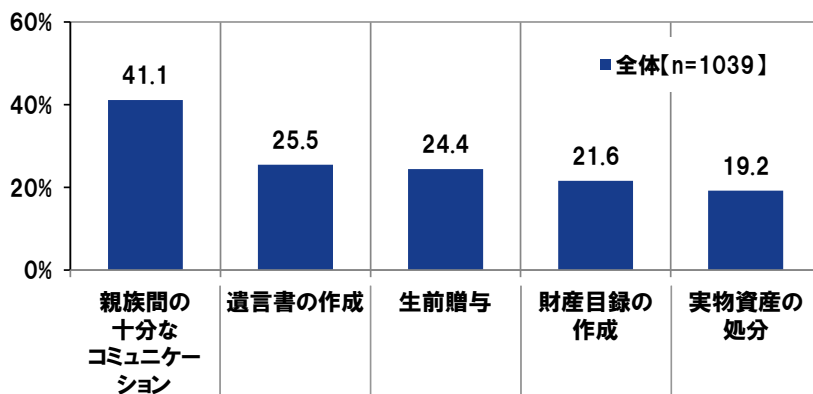
全回答者（2,000名）に、自身の相続について、“争続”にならないようにするための対策として、前もって行っておきたいことがあるか聞いたところ、「ある」は51.9%、「ない」は48.1%となりました。

前もって行っておきたいことがある人（1,039名）に、その内容を聞いたところ、「親族間の十分なコミュニケーション」（41.1%）が最も高くなりました。普段から親族間でコミュニケーションをとることで、相続を巡って言い争いや裁判沙汰になることを防げると考えている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「遺言書の作成」（25.5%）、「生前贈与」（24.4%）でした。

◆自身の相続について、“争続”にならないようにするための対策として、前もって行っておきたいことがあるか
 全体【n=2000】



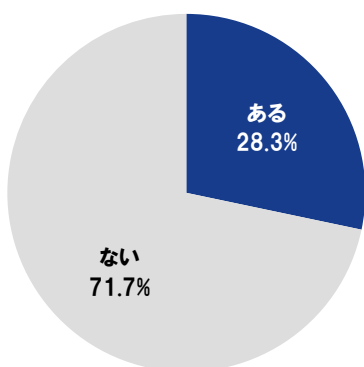
◆自身の相続について、“争続”にならないようにするための対策として、前もって行っておきたいこと（複数回答形式）※上位5位までを表示
 対象：自身の相続について、“争続”にならないようにするための対策として、前もって行っておきたいことがある人



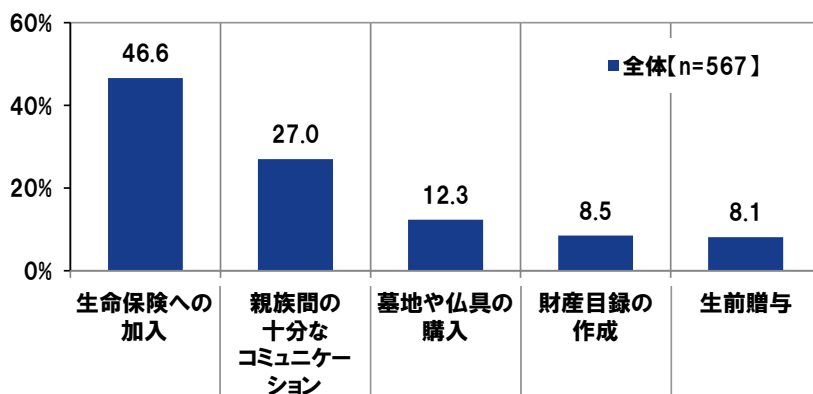
また、全回答者（2,000名）に、自身の相続について、“争続”にならないようにするための対策として、すでに行っていることがあるか聞いたところ、「ある」は28.3%、「ない」は71.7%となりました。

すでに行っていることがある人（567名）に、その内容を聞いたところ、「生命保険への加入」（46.6%）が突出して高くなり、死亡保険金の非課税枠を利用して相続税を少なくする対策をとっている人が多いことがうかがえます。

◆自身の相続について、“争続”にならないようにするための対策として、すでに行っていることがあるか
 全体【n=2000】



◆自身の相続について、“争続”にならないようにするための対策として、すでに行っていること（複数回答形式）※上位5位までを表示
 対象：自身の相続について、“争続”にならないようにするための対策として、すでに行っていることがある人



■エンディングノートにメッセージを書き残すとしたら？ 書き残したい相手1位は「子ども」、書き残したい言葉は「楽しい時間をありがとう」「幸せになってね」など心温まるメッセージが多数

続いて、エンディングノートについて質問しました。エンディングノートとは、自分に万が一のことが起こった場合に備え、自分の終末期や死後の取り扱いに関する希望、財産に関する事など、家族や周囲の人に伝えたいことを書き残すノートをいいます。

全回答者（2,000名）に、エンディングノートにメッセージを書き残すとしたら、誰に、どのような言葉（一言）を書き残したいか聞いたところ、書き残したい相手は1位「子ども」、2位「配偶者」、3位「家族」、4位「きょうだい」、5位「友人」となりました。男女別にみると、男性では1位「妻」、女性では1位「子ども」と、いずれも2位に大きな票差を付ける結果となりました。

書き残したい言葉（一言）をみると、男性では「妻」に対しては「今までありがとう」「長い間、ありがとう」「愛してる」「一緒になれて幸せだった」など感謝や愛の気持ちを伝える言葉がありました。また、「子ども」に対しては「楽しませてくれてありがとう」「幸せでした」「子どもになってくれてありがとう」、「家族」に対しては「楽しかったよ」「感謝してる」「みんな、仲良く」といった言葉がありました。

女性では「子ども」に対しては「楽しい時間をありがとう」「幸せになってね」「私の子どもとして生まれてきてくれてありがとう」「幸運な人生を」など感謝の気持ちや子どもの幸せを願う言葉がありました。また、「夫」に対しては「愛しています」「出会ってくれてありがとう」「また会おう」、「家族」に対しては「ありがとう、人生を楽しんで」「愛してる」「家族で、助け合って、みんなで仲良く、暮らしてほしい」といった言葉がありました。

◆エンディングノートにメッセージを書き残すとしたら、誰に、どのような言葉(一言)を書き残したいか（自由回答形式）

※全体(相手)は上位10位まで、男女別(相手・言葉)は上位5位までを表示

全体【n=2000】

	名		名		
1位	子ども	608	6位	母	13
2位	配偶者	488	7位	恋人	10
3位	家族	123	8位	いとこ	8
4位	きょうだい	78	9位	孫	7
5位	友人	20	10位	甥	6

男性【n=1000】

	書き残したい相手	名	書き残したい言葉(抜粋)
1位	妻	336	今までありがとう / 長い間、ありがとう / 愛してる / 幸せでした / 一緒になれて幸せだった / 支えてくれてありがとう
2位	子ども	136	楽しませてくれてありがとう / 幸せでした / 常に楽しく / 幸せに長く生きて / 子どもになってくれてありがとう
3位	家族	60	楽しかったよ / 幸せでした / ありがとう / 感謝してる / みんな、仲良く
4位	きょうだい	35	世話になった、ありがとう / 楽しかった / あとをよろしく / 元気にやれ
5位	友人	8	今までありがとう / また会いましょう / 感謝 / あとは頼む

女性【n=1000】

	書き残したい相手	名	書き残したい言葉(抜粋)
1位	子ども	472	今までありがとう / 楽しい時間をありがとう / 幸せになってね / 私の子どもとして生まれてきてくれてありがとう / 幸運な人生を
2位	夫	152	今までありがとうございました / 愛しています / 幸せでした / 出会ってくれてありがとう / また会おう
3位	家族	63	ありがとう、人生を楽しんで / 幸せでした / 愛してる / 家族で、助け合って、みんなで仲良く、暮らしてほしい
4位	きょうだい	43	今までありがとう / あとをよろしく / 身体に気をつけて / 母の介護をありがとう
5位	友人	12	心からありがとう / 会えて楽しかった / また会おうね / あとはよろしく

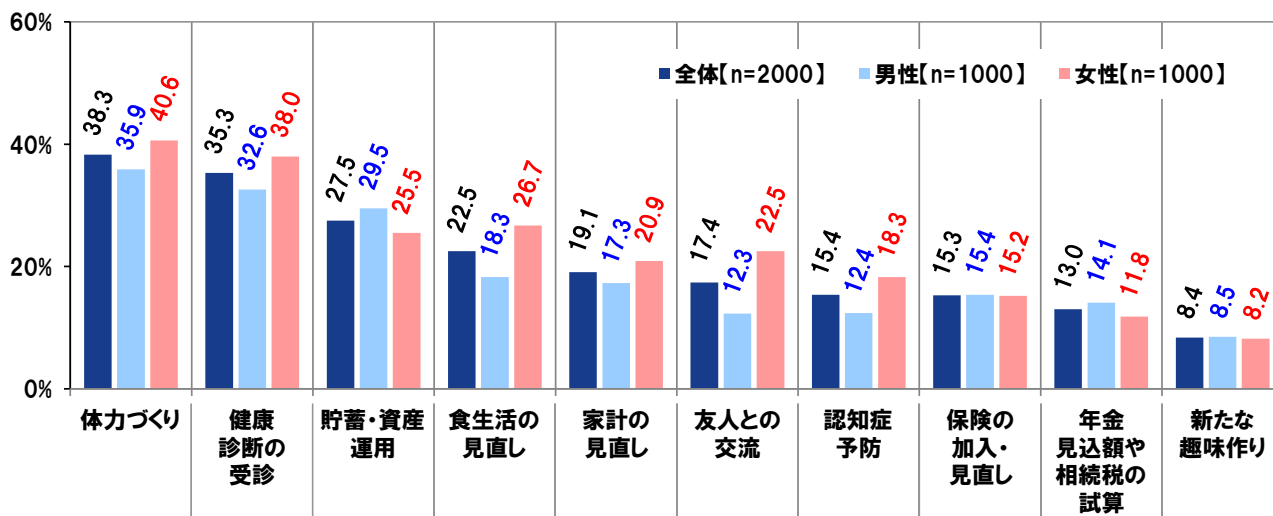
- 人生 100 年時代への備えとして行っていること 1位「体力づくり」2位「健康診断の受診」
- 万が一への備えとして今後行いたいこと 3位「貯蓄・資産運用」2位「認知症予防」、1位は？

人生 100 年時代への備えや万が一への備えについて質問しました。

人生 100 年時代への備えとして現在行っていることを聞いたところ、「体力づくり」(38.3%) が最も高くなり、「健康診断の受診」(35.3%) が続きました。普段の生活のなかで健康管理をしっかりを行い、健康面での不安を感じることなくこれからの人生を歩んでいきたいと考えている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「貯蓄・資産運用」(27.5%)、「食生活の見直し」(22.5%)、「家計の見直し」(19.1%) でした。

男女別にみると、女性では「友人との交流」は 22.5%と、男性(12.3%) と比べて 10 ポイント以上高くなりました。

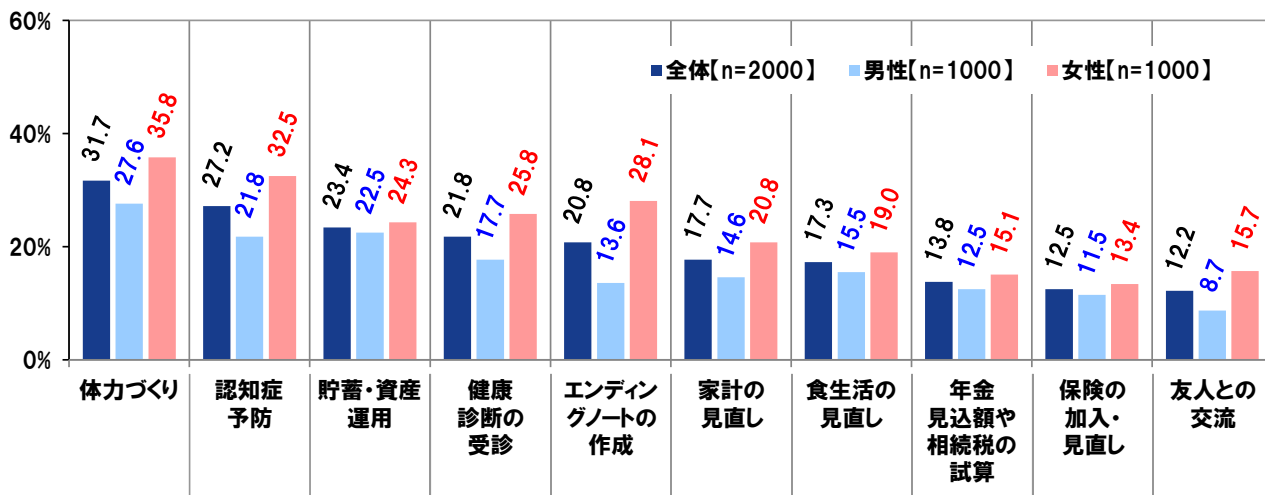
◆人生100年時代への備えとして現在行っていること（複数回答形式） ※上位10位までを表示



また、万が一への備えとして今後行いたいことを聞いたところ、「体力づくり」(31.7%) が最も高くなり、「認知症予防」(27.2%)、「貯蓄・資産運用」(23.4%)、「健康診断の受診」(21.8%)、「エンディングノートの作成」(20.8%) が続きました。

男女別にみると、女性では「認知症予防」は 32.5%、「エンディングノートの作成」は 28.1%と、男性(順に 21.8%、13.6%) と比べて 10 ポイント以上高くなりました。

◆万が一への備えとして今後行いたいこと（複数回答形式） ※上位10位までを表示



第4章：還暦人の「これまで」と「これから」

■今までの60年を漢字1文字で表すと？ 「楽」がダントツ、「苦」「幸」「忍」「耐」が続く

これまでの60年の振り返りについて質問しました。

全回答者（2,000名）に、自身の“今までの60年”を表す漢字（1字）を聞いたところ、「楽」がダントツとなり、2位「苦」、3位「幸」、4位「忍」、5位「耐」と続きました。

男女別にみると、男性・女性とも1位は「楽」でした。選んだ理由をみると、「いろいろなことを楽しんできたから」「振り返れば楽しかったから」「人生を楽しんできたと思うから」「楽しいことしか思い出せないから」と、人生を振り返ると楽しみに満たされた充実の60年だったという人が多いようです。

2位以下をみると、男性では2位「苦」、3位「忍」となり、理由をみると「苦」では「苦しかったことばかり思い出すから」「お金の苦労したから」、「忍」では「さまざまなことに耐え忍んできたから」「困難が多かったから」といった回答がありました。

他方、女性では2位「幸」、3位「苦」となり、理由をみると「幸」では「とても幸せな人生を歩んできたと思うから」「苦労することなく60年が過ぎたから」、「苦」では「辛く苦しい人生だったから」「いろいろと試練があったから」といった回答がありました。

◆自身の“今までの60年”を表す漢字(1字) (自由回答形式) ※上位10位までを表示

全体[n=2000]

	名	名
1位	楽	218
2位	苦	162
3位	幸	112
4位	忍	107
5位	耐	51
6位	生	45
7位	無	44
8位	波	41
9位	乱	37
10位	運 / 悔 / 平	34

男性[n=1000]

	名	名	選んだ理由(抜粋)
1位	楽	93	・いろいろなことを楽しんできたから ・振り返れば楽しかったから
2位	苦	82	・苦しかったことばかり思い出すから ・お金の苦労したから
3位	忍	55	・さまざまなことに耐え忍んできたから ・困難が多かったから
4位	幸	30	・60年を振り返ると幸せだったと感じるから
5位	生	28	・しっかりと生きてこられたから
6位	耐	27	・常に耐えるような場面が多かったから
7位	無	23	・何も残せなかったから
	乱	23	・波乱万丈だったから
9位	運	22	・良い運に恵まれたから
10位	悔	21	・やり直したいことばかりあるから

女性[n=1000]

	名	名	選んだ理由(抜粋)
1位	楽	125	・人生を楽しんできたと思うから ・楽しいことしか思い出せないから
2位	幸	82	・とても幸せな人生を歩んできたと思うから ・苦労することなく60年が過ぎたから
3位	苦	80	・辛く苦しい人生だったから ・いろいろと試練があったから
4位	忍	52	・我慢することが多かったから
5位	波	28	・波乱に富んだ人生だったから
6位	耐	24	・耐えることだらけだったから
7位	無	21	・何も成し遂げていないから
8位	笑	18	・笑顔で暮らせたから
9位	生	17	・ここまで無事に生きてこられたから
	平	17	・平凡な生活だったから

■テレビ放送開始 70 周年！ 夢中になったテレビ番組ランキング

1 位「8 時だヨ！全員集合」2 位「ザ・ベストテン」3 位「オレたちひょうきん族」

これまでの 60 年を表す漢字では「楽」が 1 位、「幸」が 3 位となりました。「楽」や「幸」を挙げた人の中には、バラエティや歌番組、スポーツ中継、ドラマ、アニメ、特撮などにハマって楽しい時間や幸せな時間を過ごした人が多いのではないのでしょうか。1953 年 2 月 1 日に日本初のテレビ放送が開始されてから今年で 70 年となります。今年の還暦人は、これまでどのようなテレビ番組に夢中になったのでしょうか。

夢中になったテレビ番組を聞いたところ、ザ・ドリフターズの代名詞といえるバラエティ番組「8 時だヨ！全員集合」がトップとなり、2 位「ザ・ベストテン」、3 位「オレたちひょうきん族」、4 位「プロ野球中継」、5 位「仮面ライダーシリーズ」と続きました。

男女別にみると、男性では 1 位「8 時だヨ！全員集合」、2 位「プロ野球中継」、3 位「仮面ライダーシリーズ」、4 位「オレたちひょうきん族」、5 位「ウルトラマンシリーズ」、女性では 1 位「ザ・ベストテン」、2 位「8 時だヨ！全員集合」、3 位「赤いシリーズ」、4 位「オレたちひょうきん族」、5 位「太陽にほえろ！」となりました。

◆夢中になったテレビ番組（自由回答形式）※上位 10 位までを表示

全体[n=2000]

		名
1位	8時だヨ！全員集合	96
2位	ザ・ベストテン	80
3位	オレたちひょうきん族	58
4位	プロ野球中継	51
5位	仮面ライダーシリーズ	48
6位	太陽にほえろ！	38
7位	赤いシリーズ	37
8位	ウルトラマンシリーズ	35
9位	プロレス中継	25
	宇宙戦艦ヤマト	25

男性[n=1000]

		名
1位	8時だヨ！全員集合	55
2位	プロ野球中継	47
3位	仮面ライダーシリーズ	43
4位	オレたちひょうきん族	42
5位	ウルトラマンシリーズ	33
6位	太陽にほえろ！	24
7位	プロレス中継	23
8位	宇宙戦艦ヤマト	19
9位	ザ・ベストテン	16
10位	巨人の星	13

女性[n=1000]

		名
1位	ザ・ベストテン	64
2位	8時だヨ！全員集合	41
3位	赤いシリーズ	34
4位	オレたちひょうきん族	16
5位	太陽にほえろ！	14
6位	アタックNo.1	10
7位	SMAP×SMAP	9
8位	3年B組金八先生	7
	ズームイン!!朝!	7
	相棒	7

■これから叶えたい夢や目標 「旅行をする」がダントツ、2位「健康に過ごす・健康になる」

「人生 100 年時代」を生きる還暦人がこれからの人生でやりたいこと、生まれ変わりについて質問しました。

全回答者（2,000 名）に、これからやりたいこと（叶えたい夢や目標）を聞いたところ、「旅行をする（日本一周・世界一周除く）」がダントツとなりました。セカンドライフでは、行ってみたいところに足を運び、現地でしか堪能できない経験や、旅行先での新たな出会いなどを楽しみたいと考えている人が多いのではないのでしょうか。以降、2位「健康に過ごす・健康になる」、3位「働く・現役でいる」「日本一周・世界一周をする」、5位「趣味を楽しむ」が続きました。

男女別にみると、男女とも 1 位は「旅行をする（日本一周・世界一周除く）」、2 位「健康に過ごす・健康になる」となり、男性では「働く・現役でいる」が 3 位、「趣味を楽しむ」が 4 位、「お金持ちになる・資産形成をする」「日本一周・世界一周をする」が同数で 5 位となったのに対し、女性では「穏やかに過ごす」が 3 位、「楽しく過ごす」「体力をつける・体を鍛える」が同数で 4 位でした。

◆これからやりたいこと(叶えたい夢や目標) (自由回答形式) ※上位10位までを表示

全体[n=2000]

		名
1位	旅行をする(日本一周・世界一周除く)	336
2位	健康に過ごす・健康になる	120
3位	働く・現役でいる	37
	日本一周・世界一周をする	37
5位	趣味を楽しむ	36
6位	楽しく過ごす	30
7位	穏やかに過ごす	25
	長生きする	25
9位	お金持ちになる・資産形成をする	24
10位	歌を歌う・楽器を演奏する	23
	体力をつける・体を鍛える	23

男性[n=1000]

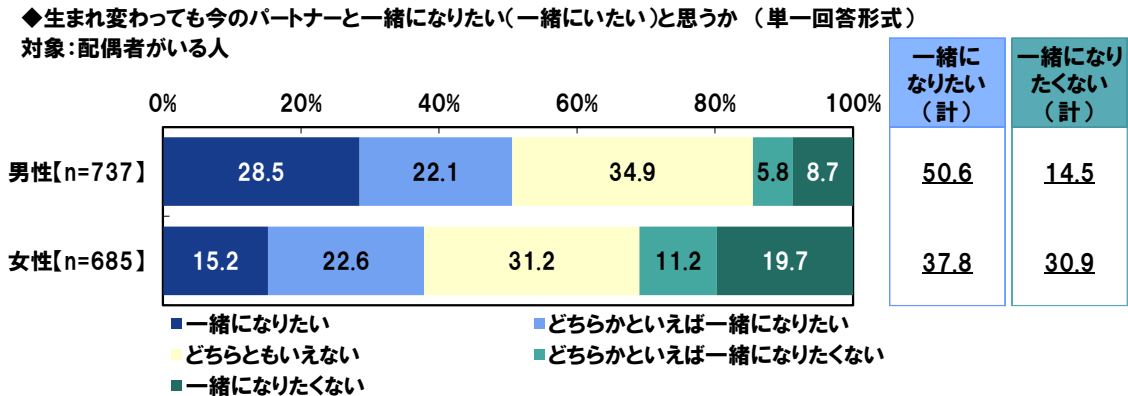
		名
1位	旅行をする(日本一周・世界一周除く)	133
2位	健康に過ごす・健康になる	45
3位	働く・現役でいる	26
4位	趣味を楽しむ	21
5位	お金持ちになる・資産形成をする	19
	日本一周・世界一周をする	19
7位	社会貢献・ボランティアをする	12
8位	楽しく過ごす	11
	起業・開業をする	11
	長生きする	11
	悠々自適・のんびり過ごす	11

女性[n=1000]

		名
1位	旅行をする(日本一周・世界一周除く)	203
2位	健康に過ごす・健康になる	75
3位	穏やかに過ごす	20
4位	楽しく過ごす	19
	体力をつける・体を鍛える	19
6位	日本一周・世界一周をする	18
7位	歌を歌う・楽器を演奏する	17
8位	趣味を楽しむ	15
9位	長生きする	14
10位	自由に生きる	12

- 「生まれ変わっても今のパートナーと一緒にになりたい」男性では5割、女性では4割弱
 一緒にになりたい理由 「好きだから」「最高の理解者」「次は幸せで楽な人生を送らせてあげたい」
 「一緒にいて気持ちが楽」「自然体でいられる」「今以上の人が現れないと思う」など

配偶者がいる人（男性 737 名、女性 685 名）に、生まれ変わっても今のパートナーと一緒にになりたい（一緒にいたい）と思うか聞いたところ、「一緒にになりたい」と「どちらかといえば一緒にになりたい」を合計した割合は、男性では 50.6%、女性では 37.8%でした。一方で、「一緒にになりたくない」と「どちらかといえば一緒にになりたくない」を合計した割合は、男性では 14.5%、女性では 30.9%と開きがみられる結果となりました。



生まれ変わっても今のパートナーと一緒にになりたいと思う人（男性 373 名、女性 259 名）に、そう思う理由を聞いたところ、男性では「好きだから」「かけがえのない存在」「最高の理解者」「一緒に当たり前」「相性が良い」「一緒にいて楽しい」「自分にはないものを持っている」「次は幸せで楽な人生を送らせてあげたい」「人生の半分以上を一緒に過ごし、幸せな家庭を築けた」といった回答がありました。他方、女性では「大好きだから」「一緒にいて気持ちが楽」「自然体でいられる」「一緒にいて、自分らしくいられる」「居心地が良い」「とても気の合う人」「価値観が似ている」「今以上の人が現れないと思う」「友達夫婦のような関係を築けている」といった回答がありました。男性・女性ともに、今のパートナーと幸せな時間を過ごすことができていることや、良好な関係を築けていることがうかがえる結果となりました。

◆生まれ変わっても、今のパートナー(恋人・配偶者)と一緒にになりたい(一緒にいたい)と思う理由 (自由回答形式) ※抜粋して表示
 対象:生まれ変わっても今のパートナーと一緒にになりたい(一緒にいたい)と思う人

男性[n=373]

- ・好きだから
- ・自分にとって唯一無二の人
- ・かけがえのない存在
- ・最高の理解者
- ・一番わかり合っている仲
- ・一緒に当たり前
- ・運命だと思っている
- ・相性が良い
- ・趣味が合って楽しい
- ・一緒にいて楽しい
- ・一緒にいて安心できる
- ・自分にはないものを持っている
- ・生き方に共感している
- ・次は幸せで楽な人生を送らせてあげたい
- ・息の合った夫婦生活を送れている
- ・人生の半分以上を一緒に過ごし、幸せな家庭を築けた

女性[n=259]

- ・大好きだから
- ・一緒にいて気持ちが楽
- ・一緒にいてストレスがない
- ・自然体でいられる
- ・自分の心がとても安心する相手
- ・一緒にいて、自分らしくいられる
- ・居心地が良い
- ・子どもに恵まれ、楽しい暮らしが送れている
- ・思いやりがあり、優しい人
- ・とても気の合う人
- ・一番の理解者
- ・安心して生活ができた
- ・価値観が似ている
- ・お互い気を遣わず好きなことができる
- ・今以上の人が現れないと思う
- ・友達夫婦のような関係を築けている

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入しているため、合計しても100%とならない場合がございます。
また、属性別集計において抜粋して表示している場合は、n数を合計しても全体と一致しない場合がございます。

- ◆調査タイトル : 2023年の還暦人（かんれきびと）に関する調査
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする
1963年生まれの男女
- ◆調査期間 : 2023年3月13日～3月15日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 2,000サンプル ※有効回答から抽出
(有効回答から性別区分が均等になるように抽出)

(内訳)	男性	女性
	1,000	1,000

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■会社概要■■

- 会社名 : プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 得丸 博充
- 創業 : 2010年4月1日
- 本社所在地 : 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 業務内容 : 生命保険業
(営業種目：個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険)

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「PGF生命調べ」と付記のうえご使用いただきますようお願い申し上げます。